

2020年2月期 第1四半期

## 決算説明資料

2019年7月11日

## 古野電気株式会社

### 注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

## ◆ 売上：増収

日本・アジア地域における船用事業の売上が伸長。

産業用事業及び無線LAN・ハンディーターミナル事業の売上が減少。

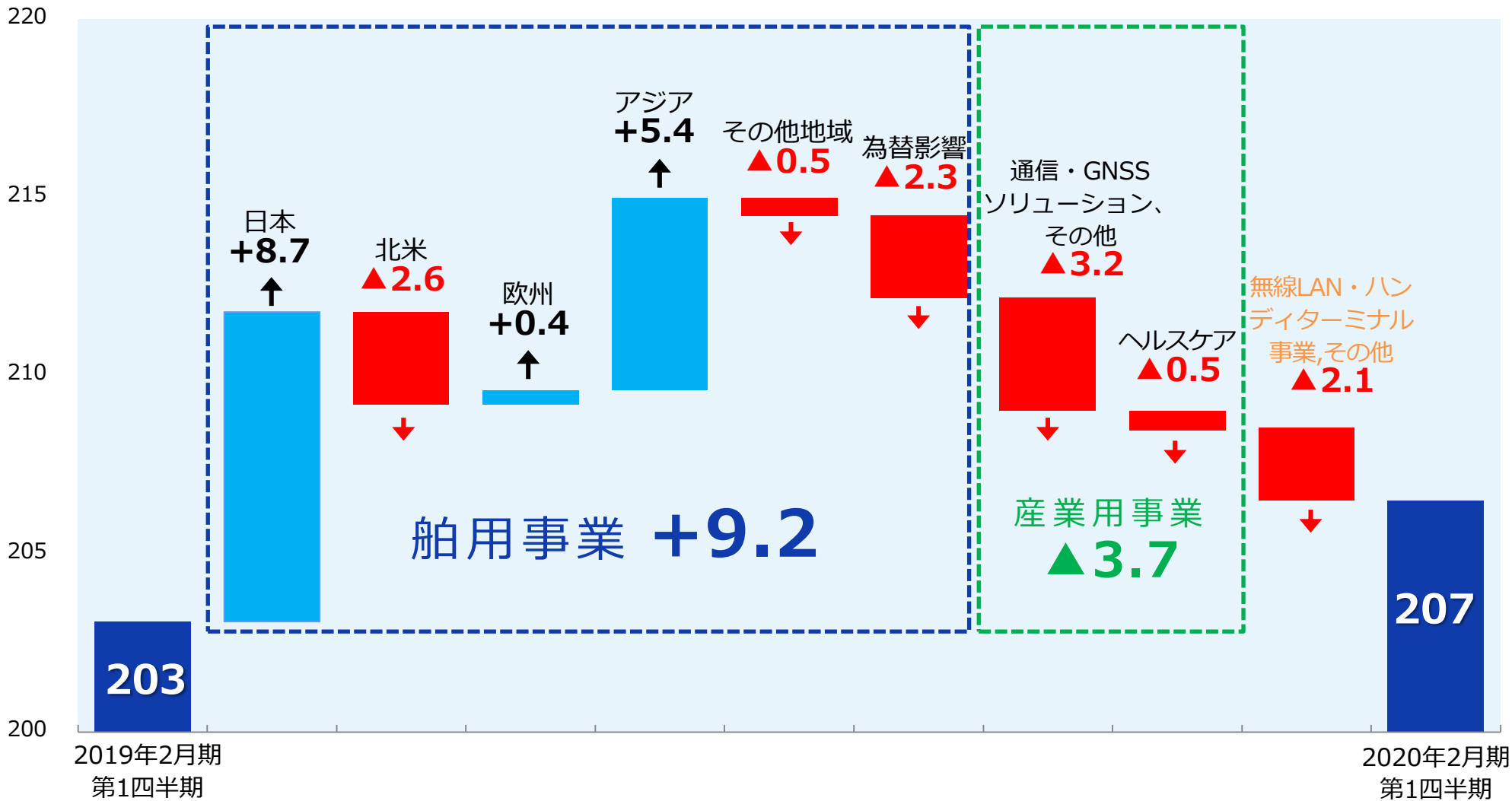
## ◆ 利益：減益

売上原価増加、販売費および一般管理費増加により営業利益が減少。

(単位：百万円)	2019年2月期 第1四半期	2020年2月期 第1四半期	増減比 (額)	増減比 (率)
<b>売上高</b>	20,313	<b>20,652</b>	+339	+1.7%
<b>売上総利益</b> (対売上高比率)	8,774 (43.2%)	<b>7,611</b> (36.9%)	▲1,163 (▲6.3)	▲13.3%
<b>営業利益</b> (対売上高比率)	2,183 (10.8%)	<b>779</b> (3.8%)	▲1,404 (▲7.0)	▲64.3%
<b>経常利益</b> (対売上高比率)	2,202 (10.8%)	<b>874</b> (4.2%)	▲1,328 (▲6.6)	▲60.3%
<b>親会社株主に帰属 する四半期純利益</b> (対売上高比率)	1,869 (9.2%)	<b>897</b> (4.4%)	▲972 (▲4.8)	▲52.0%
<b>研究開発費</b> (対売上高比率)	1,125 (5.5%)	1,230 (6.0%)	+105 (+0.5)	+9.3%
<b>設備投資額</b> (対売上高比率)	702 (3.5%)	468 (2.3%)	▲234 (▲0.8)	▲33.3%
<b>減価償却費</b> (対売上高比率)	715 (3.5%)	779 (3.8%)	+64 (+0.3)	+9.0%
(単位：円、期中平均レート)				
<b>為替 (対ドル)</b>	110	111	+1	+0.7%
<b>為替 (対ユーロ)</b>	133	126	▲7	▲5.4%

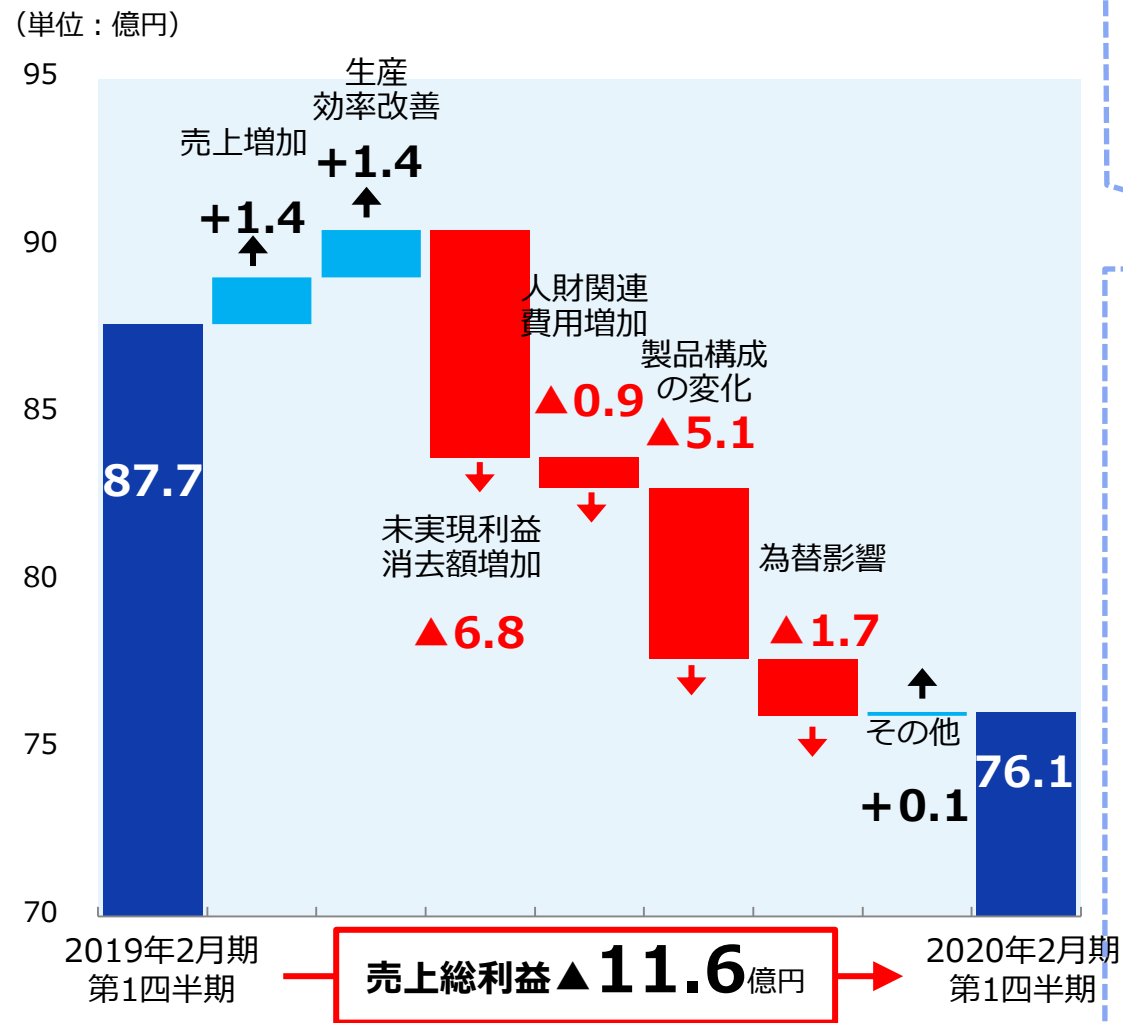
# 売上高の増減分析

(単位：億円)

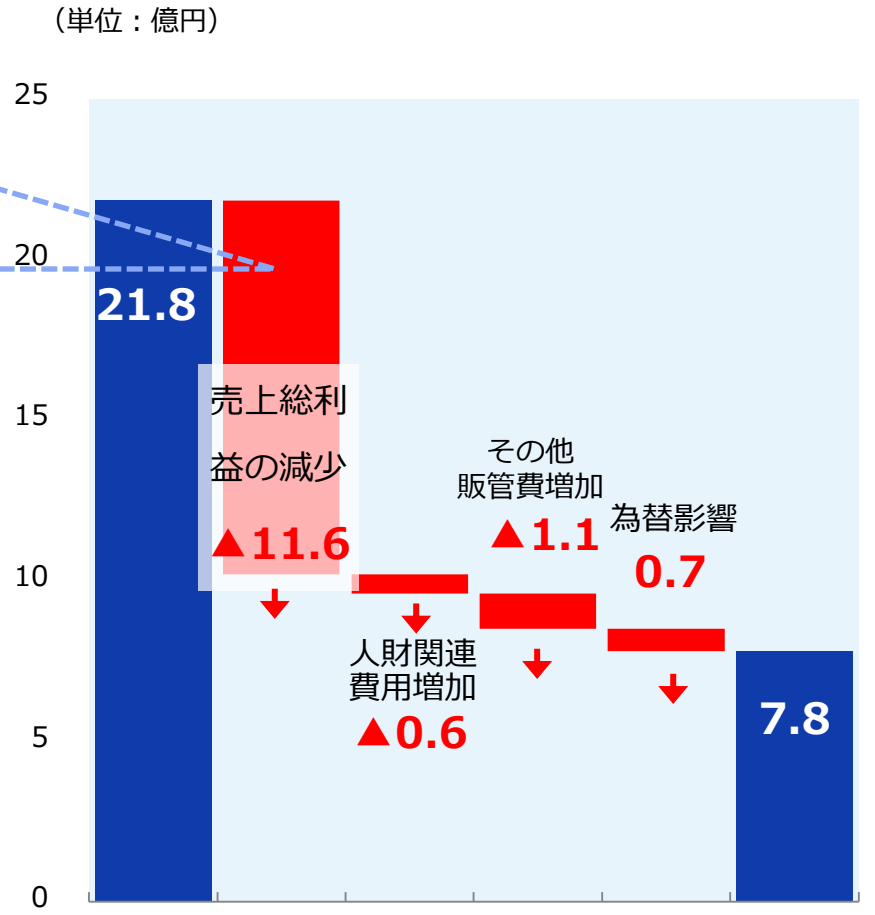


※ 為替感応度 (2019年2月期実績値)  
 【ドル】売上高1.2億円、営業利益0.5億円  
 【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.6億円

## 売上総利益の増減分析

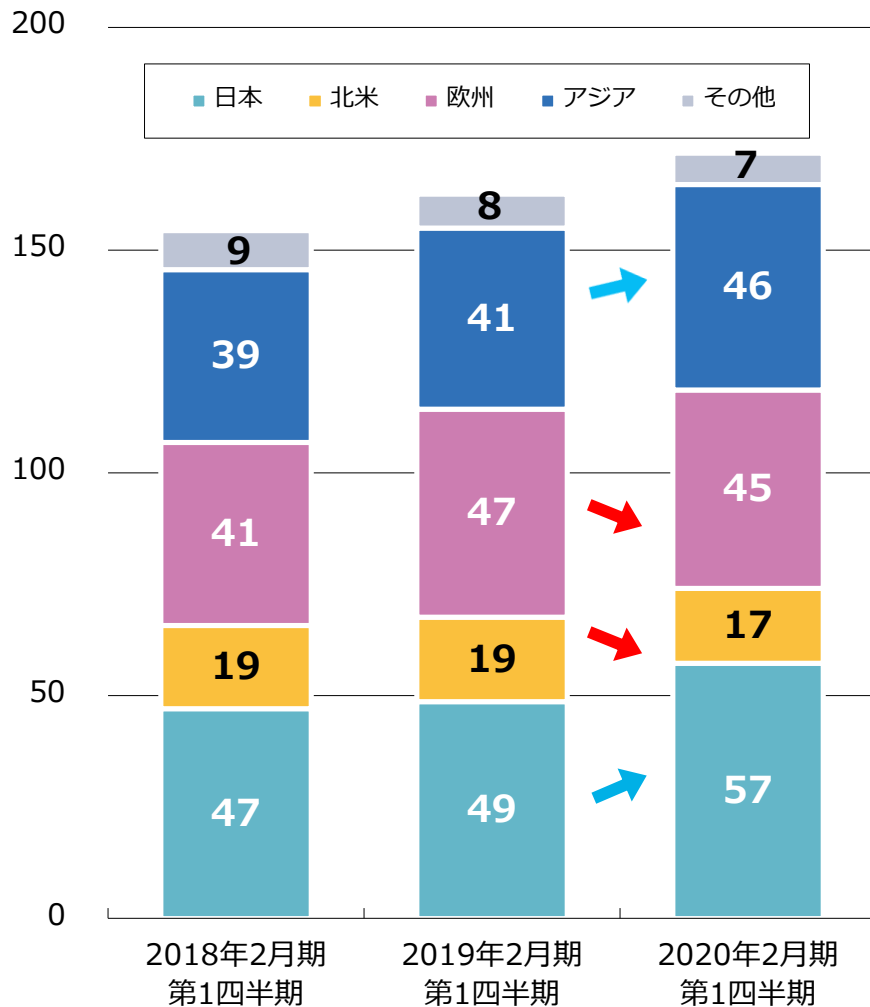


## 営業利益の増減分析



## 船用事業・連結売上高 (累計・地域別)

(単位：億円)



## 船用事業：

売上高 **171**億円 (前年同期比 + **5.6%**)

セグメント利益 **6.2**億円 (▲**11.5**億円)

⇒ **日本・アジアで増収**

⇒ **製品構成の変化、未実現利益消去額増加、  
為替影響等により減益**

◆ **日本**：売上高 **57**億円 (+**17.8%**)

▶ 商船新造船向けおよび漁業向け大幅増収

◆ **北米**：売上高 **17**億円 (▲**12.0%**)

▶ 小型商品が減収

◆ **欧州**：売上高 **45**億円 (▲**4.4%**)

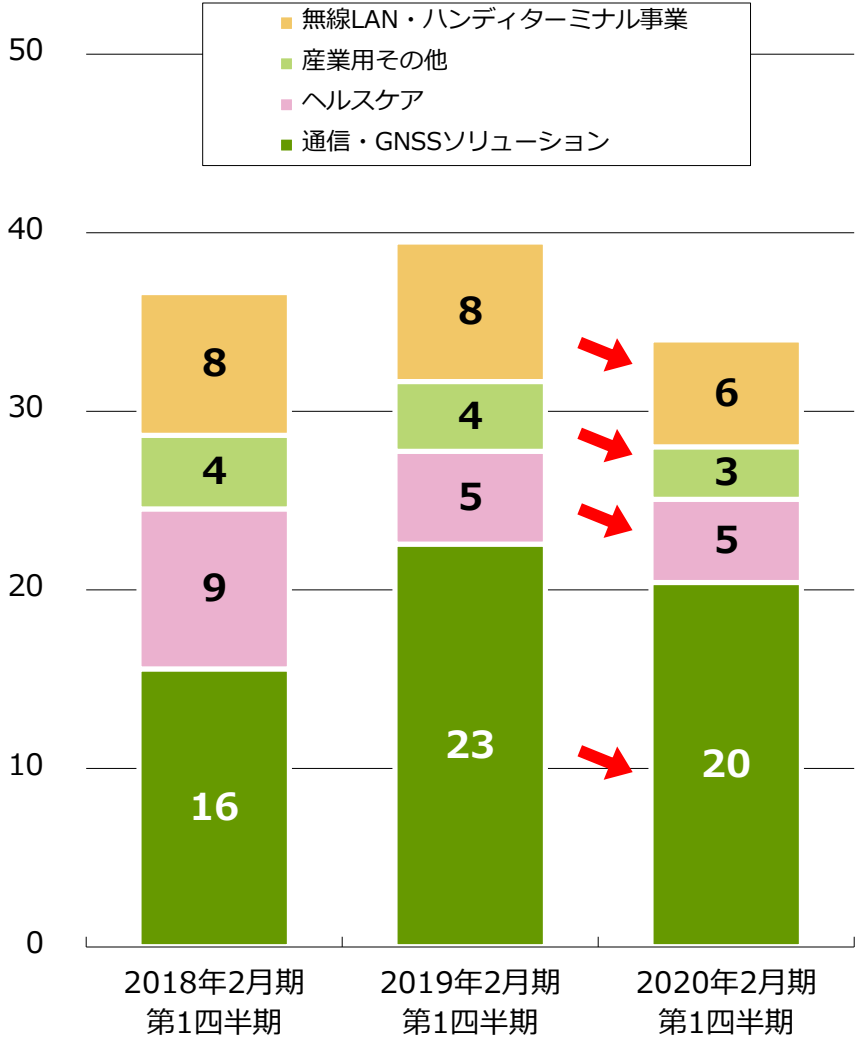
▶ 為替影響により若干減収も、商船換装向け堅調

◆ **アジア**：売上高 **46**億円 (+**13.1%**)

▶ 商船新造船向け、換装向けともに拡大

## 産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）

（単位：億円）



### 産業用事業：

売上高 **27**億円（前年同期比 **▲11.7%**）

セグメント利益 **1.4**億円（**▲2.0**億円）

⇒ **通信・GNSSソリューション事業は、大型案件剥落で前期比減収も引き続き堅調**

⇒ **ヘルスケア事業は自社機が伸びず減収**

### ◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 **20.4**億円（**▲9.6%**）

### ◆ヘルスケア事業：売上高 **4.7**億円（**▲10.4%**）

### 無線LAN・ハンディターミナル事業：

売上高 **6.1**億円（前年同期比 **▲23.0%**）

セグメント損失 **0.1**億円（**▲0.8**億円）

⇒ **無線LANアクセスポイントは第1四半期減収 第2四半期に案件集中**

# トピックス

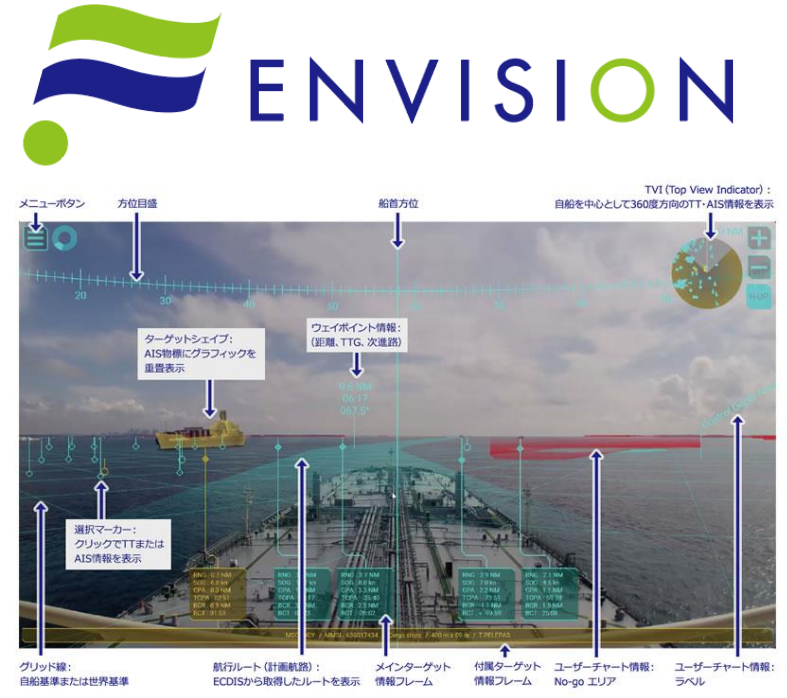


## 大型船舶向け操船支援システム「ARナビゲーション」を開発

当社は、拡張現実（Augmented Reality）技術を活用した大型船舶向けの操船支援システム「フルノENVISIONシリーズ・ARナビゲーション（型式：AR-100M）」を開発しました。

「フルノENVISIONシリーズ」は、運航中の乗組員の操船や見張りを視覚的にサポートすることで、航海の安全・安心に寄与する各種ソリューションのブランドネームです。今回開発したARナビゲーションは、同シリーズの第1弾として開発した新機軸のシステムであり、船舶の前方に向けて設置したカメラの映像をディスプレイ上に映し出し、その映像上にAR技術を用いて航行に必要な情報を重畳表示することで、危機回避など安全運航に不可欠な操船判断の補助機能としてご活用いただくことを想定しています。

本システムは、共同開発した株式会社商船三井がグループで運航する大型原油タンカー21隻に搭載が決定しており、2020年初頭から全世界の海運各社へ提供する予定です。



▲ ARナビゲーション映像イメージ

## 中国製造委託工場を独資企業へ転換

当社子会社である古野香港有限公司は、中国広東省東莞市に有する来料加工廠（製造委託工場）を、この度外商投資企業法人（生産子会社）へ転換する形で、新会社の設立許可を取得しました。

近年、中国広東省では来料加工廠から外商投資企業法人への転換を促進しており、こうした進出先の政府政策に協調し、また経営基盤の安定化を図るために、設備などを継承する形で独資企業へ転換しました。

なお、本転換に伴う2020年2月期連結業績に与える影響は軽微です。

### <生産子会社の概要>

会社名	東莞古野電子有限公司
所在地	中国広東省東莞市長安鎮
代表者	董事長 上村 貴典
事業内容	船舶用電子機器の製造
資本金	174万USドル（約1億91百万円）
設立日	2019年7月
出資比率	古野香港有限公司（当社100%子会社） 100%



▲中国、東莞古野電子有限公司

## フルノシステムズ、マネージド・スイッチ PoE対応 スイッチングハブ 「ACERA 9010シリーズ」を発売

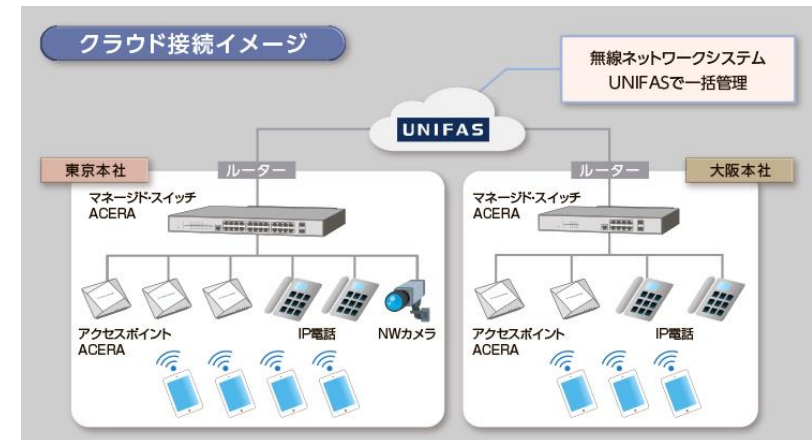
当社子会社である株式会社フルノシステムズが、同社初となるマネージド・スイッチ PoE対応 スイッチングハブ「ACERA（アセラ）9010シリーズ」を開発しました。

本機は、レイヤ2（データリンク層）レベルでデータの行き先を振り分けるPoE L2スイッチで、同社が提供する無線ネットワーク管理システム「UNIFAS（ユニファス）」を用いることで、フルノシステムズ製のアクセスポイントと一括管理することを可能にします。

ユーザーから無線ネットワーク状況の把握や制御を実現する機器の開発が望まれていたことから、ネットワーク全体を管理できる製品として市場投入することになり、今回8ポートの「ACERA 9010-08」と24ポートの「ACERA 9010-24」の2機種を用意し、2019年7月上旬に発売する予定です。



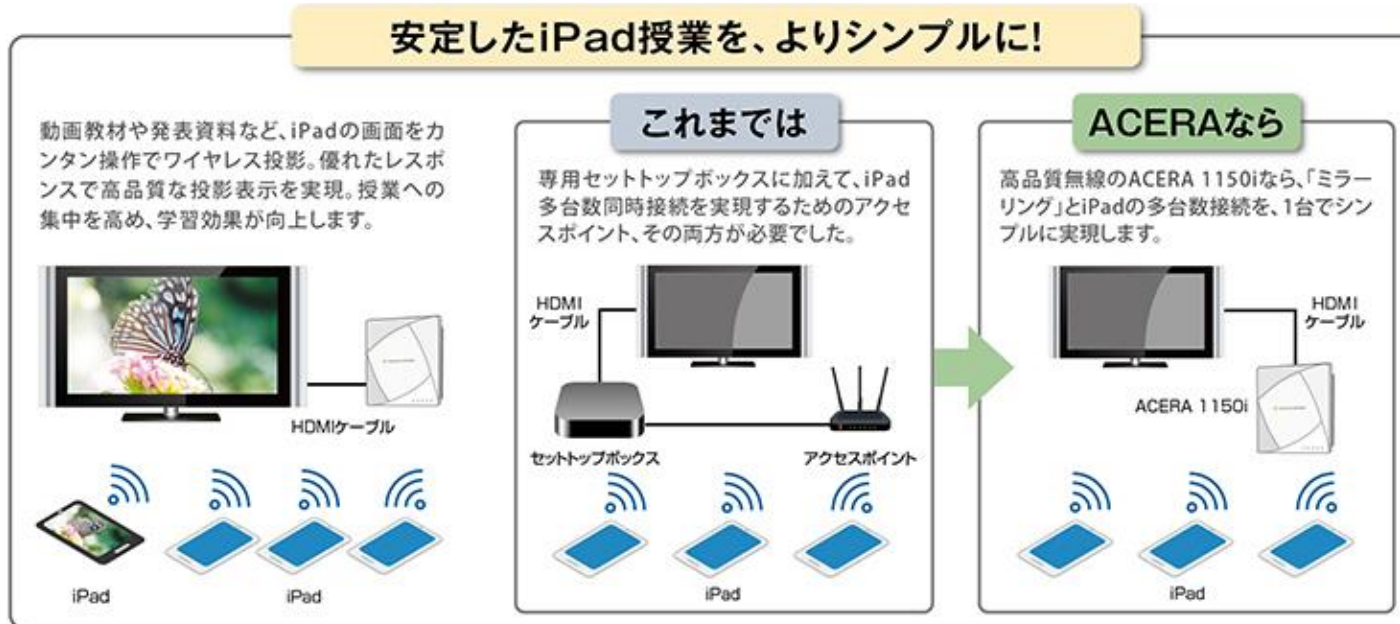
▲ ACERA 9010-08（上段：8ポート）、  
ACERA 9010-24（下段：24ポート）



## フルノシステムズ、iPadの画面を大型モニターに投影できる動画対応アクセスポイント「ACERA 1150i」を発売

当社子会社である株式会社フルノシステムズは、無線LANアクセスポイント「ACERA（アセラ）シリーズ」の新製品として、iPadの画面を電子黒板やプロジェクタなどの大画面に手軽にワイヤレス投影（ミラーリング）できる動画対応アクセスポイント「ACERA 1150i」を開発しました。

本機種1台で多台数の端末を同時に無線接続可能で、専用アプリケーションをインストールすることなくiPad、iPhone、Macからのミラーリングとストリーミング映像を投影できる機能を備えています。2019年秋頃発売予定です。



▲ iPad、iPhone、Macからのミラーリング・ストリーミングを実現する動画対応アクセスポイント「ACERA 1150i」

# 補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2019年2月28日現在



社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年(昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
従業員(連結)	2,957 名
売上高(連結)	82,108 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

I R 情報サイト⇒ <https://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <https://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト⇒ <https://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

## 安全安心・快適、 人と環境に優しい社会・航海の実現

